５．大阪商業大学での起業教育取組紹介

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園 ①第10回大会概要

大阪商業大学　総合経営学部商学科　准教授
起業教育委員会　委員　北室康一

はじめに



本学は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念として掲げ、実学教育を行っている。実学教育の中でも、とりわけ起業教育に重点を置いており、産官学の垣根を越えたさまざまなプロジェクトに取り組んでいる。

ビジネスアイディア甲子園は、起業教育における高大連携プロジェクトのひとつとして2001年から始まった。ビジネスアイディア甲子園は、全国の高校生を対象とする、新商品や新サービスなどのビジネスアイディアを競うコンテストである。

ビジネスアイディア甲子園では、これまでさまざまな取組を行ってきた。特に表彰式では、起業家・実業家の講演、グランプリ・準グランプリアイディアのプレゼンテーション、高等学校で取り組まれている起業教育についての発表などを行ってきた。以前より、高等学校の先生方からプレゼンテーションの機会を設けてほしいとの要望もあり、前回から表彰式前に上位のアイディアのプレゼンテーションを行い、このプレゼンテーションを最終審査の対象に加えている。この審査方式は、本学学生を対象としたビジネスアイディア・コンテストでも行っている。大勢の前で発表し、応募用紙では表現しきれなかったアイディアの特長を再度表現しなおす場を設けることによって、発表者がアイディアのさらなるブラッシュアップやプレゼンテーションの準備に取り組めるようにしている。これは、社会で求められている能力を涵養する、すなわち実学教育を行う機会を提供するものである。

前回のプレゼンテーション審査が好評だったため、今回も前回の審査方式を踏襲した。また、今回は10回目の開催を記念し、特別にいくつかの取組を行った。

第10回の取組

10周年特別企画として、１．歴代グランプリ特別座談会、２．ビジネスアイディア甲子園10回記念冊子の発行、３．過去グランプリ受賞者へのインタビュー、４．10回記念学校賞の表彰を行った。

１．歴代グランプリ特別座談会



第１回グランプリの大島知香さん（京都府立大江高等学校）、第２回グランプリの深井範子さん（滋賀県立八幡商業高校）、第５回グランプリの土野麻衣子さん（田園調布雙葉中学高等学校〔東京都〕）、第６回グランプリの麻田恵利さん（京都府立京都すばる高等学校）の４名と本学学長の谷岡一郎とで、受賞アイディアと当時の思い出や受賞してよかったことなどをテーマに対談していただいた。この模様は、2011年７月30日の毎日新聞大阪本社版、および10回記念冊子に掲載された。また、本報告書にも再掲している。

２．ビジネスアイディア甲子園10回記念冊子の発行

ビジネスアイディア甲子園の第１回から第９回までの様々な記録などをまとめた冊子を発行、配布した。これまでの受賞アイディアなどが掲載されており、これまでのビジネスアイディア甲子園を振り返れるだけでなく、授業でビジネスアイディア甲子園に取り組んでおられる高校の先生方へのインタビューも載せているので、今度の取組に役立てていただけるような内容になっている。

記念冊子の掲載内容は、以下のとおりである。

・学長メッセージ
・写真で振り返るビジネスアイディア甲子園
・10回記念座談会
・第１回～第９回　グランプリ受賞作品のご紹介
・第１回～第９回　準グランプリ受賞作品のご紹介
・取組校インタビュー
・第１回～第10回までの応募校一覧

３．過去グランプリ受賞者へのインタビュー

第４回グランプリの尼田聖朗さん（同志社香里高等学校〔大阪府〕）、第６回グランプリの麻田恵利さんの２名にお越しいただき、最終審査のプレゼンを見た感想や受賞当時のことや受賞以降の経験などをインタビュー形式で話していただいた。



４．10回記念学校賞の表彰

過去10回の応募記録をもとに、10回記念学校賞を設定し、これまで長期にわたって積極的に取り組んでいただいた学校を表彰した。

10回記念学校賞は、以下のとおりである。



・愛知県立一宮商業高等学校
・滋賀県立大津商業高等学校
・滋賀県立八幡商業高等学校
・京都府立大江高等学校
・京都府立木津高等学校
・京都府立京都すばる高等学校
・大阪府立金剛高等学校
・大阪市立天王寺商業高等学校
・明石市立明石商業高等学校（兵庫県）
・岡山県立岡山東商業高等学校
・岡山県立笠岡商業高等学校

第10回大会総括

今回は、９月１日（木）の応募受付から、10月８日（土）の締め切りまでの間に、過去最多の全国158校の高等学校から6,604件の応募があった。また、158校のうち新規に応募があった学校は62校である。ちなみに前回は新規に44校から応募があり、全140校から5,702件の応募があった。これまでの応募校数や応募件数の推移は表１のとおりである。

今回の6,604件のアイディアのうち、61件が一次審査を通過し、さらに5件が二次審査を通過し最終審査へと進んだ。最終審査および表彰式は、2011

年12月17日(土)に、本学蒼天にて、第10回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園として毎日新聞社との共催で開催された。参加者数は100人強であった。今回の上位入賞アイディアは表２のとおりである。また、今回の学校賞を受賞された高等学校は、以下のとおりである。

・岩手県立宮古商業高等学校
・秋田市立秋田商業高等学校
・富士見高等学校（東京都）
・横浜市立横浜商業高等学校
・富山県立富山商業高等学校
・静岡県立浜松東高等学校
・愛知県立愛知商業高等学校
・滋賀県立八幡商業高等学校
・京都府立大江高等学校
・京都府立京都すばる高等学校
・大阪市立天王寺商業高等学校
・大阪市立淀商業高等学校
・大阪女子短期大学高等学校
・好文学園女子高等学校（大阪府）
・同志社香里高等学校（大阪府）
・兵庫県立洲本実業高等学校
・奈良県立榛生昇陽高等学校
・和歌山県立和歌山商業高等学校
・岡山県立岡山東商業高等学校
・岡山県立岡山南高等学校
・岡山県立倉敷商業高等学校





表１　応募校数、応募件数の推移

	応募件数	応募校数
第１回	597件	22校
第２回	1,296件	40校
第３回	2,398件	58校
第４回	3,775件	91校
第５回	3,309件	93校
第６回	4,374件	114校
第７回	4,762件	120校
第８回	5,832件	138校
第９回	5,702件	140校
第10回	6,604件	158校

表2　第10回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園の受賞一覧

賞	アイディア名・学校名・学年・受賞者（グループ名）
グランプリ	「NEW！節約！」 大阪市立淀商業高等学校３年　グループ名「YAM」 横林夕夏さん・吉原晶穂さん・原菜凛さん
準グランプリ	「地域活性化事業　遊休農地の活用法「ドリームファーム事業」」 静岡県立浜松東高等学校２年　齋藤友里菜さん・新村有己乃さん・奥山　詩織さん・内藤　優衣さん
	「マイマウスJFM」 愛知県立吉和高等学校２年　石田雅人さん
審査員特別賞	「節約ポンプ」 岡山県立高梁城南高等学校１年　小西莉加さん・吉末博和さん・中田夏子さん
	「直方商店街、活性化大作戦！！！」 福岡県立筑豊高等学校３年　平野朱華さん

今回の最終審査および表彰式の模様は、2012年１月14日の毎日新聞全国版の紙面上に掲載されている。

おわりに



アイディア甲子園は参加校の少ないところから始まり、これまで多くの高校および高校の先生方、協賛企業の協力を得て、着実に発展し、節目の10回目を大々的に開催することができた。

今回の10周年特別企画の際には、対談、登壇していただいた過去グランプリ受賞者の方々には忙しい中、また遠方よりご足労いただいた。さらに、過去のグランプリ受賞者と連絡を取るために出身校の先生方にもご尽力いただいた。そして、上位入賞の高校生にはファイナルを盛大に盛り上げる発表をしていただき、先生方には高校生に素晴らしいご指導をしていただいた。卒業後の進路を決める大事な時期にも関わらず、準備に取り組まれた生徒もおられる。末筆ながら、この場を借りて皆様に心より感謝申し上げる。